

### <211025 浜北 017 の大データと周辺のデータについて その 5>

先週からお伝えしている浜北 017 の大きなデータにつき、東海地方を警戒していて 10 月 21 日の 17 時 37 分ごろ東海道南方沖 M5.8 の地震が発生しました。震源深さが 380 km のいわゆる大深度地震で、実際に揺れたのは東海地方でなく関東から東北地方の広い範囲でした(下記)。この地震は浜北 017 の大データに関連するものの 1 つであると考えられますが浜北 017 のデータの総量から考えた場合、M5.8 では規模が小さく、今後まだまだ大地震に注意が必要です。

本日 10 月 25 日(月)の段階で浜北 017 のデータは Max 350 万を超える、6 本の大きな 1 本立ちのデータが 10 月 11 日ごろから 18 日ごろまで続き、それ以降は一気に減って 300/h 前後の数値に収まっていて いまは収束状態が近いと考えられます。

周囲の観測点のデータを見ると、同期がみられた浜松浜北 B355 は Max 5 万/h 前後の 1 本立ちを繰り返しています。また長期データの伊勢 E481, 伊勢 D484 に収束傾向が見られます。さらに三重志摩に 10 月 24 日に 60 万の 1 本立ち、和歌山大地の 25 日の小さい 1 本立ちがあり、大阪高槻にも 20 万を超える 1 本立ちが見られます。

いずれにせよ、浜北 017 のデータは いわゆる 1 本立ちで、MAX 300 万/h を超えるような大きいデータが続けて出るのは大変めずらしく、地理的にみるとまずは静岡、愛知、三重あたりの大地震の可能性を考えたいと思います。しかしながら西側の伊勢 D, E との同期を考えた場合は関西の大地震の可能性もあり、また同じ長期データの長野の安曇野、白馬のほうに関連がある場合は中部、東海地区の大地震になります。

上記のように大きなデータがたくさん見られることから特に静岡、愛知、三重を中心とした中部、東海、関西の地域については しばらくの間、相当な警戒が必要と考えます。

### <10 月 21 日東海道南方沖 M5.8 D380 km>



発生時刻	2021年10月21日 17時37分ごろ
震源地	東海道南方沖
最大震度	3
マグニチュード	5.8

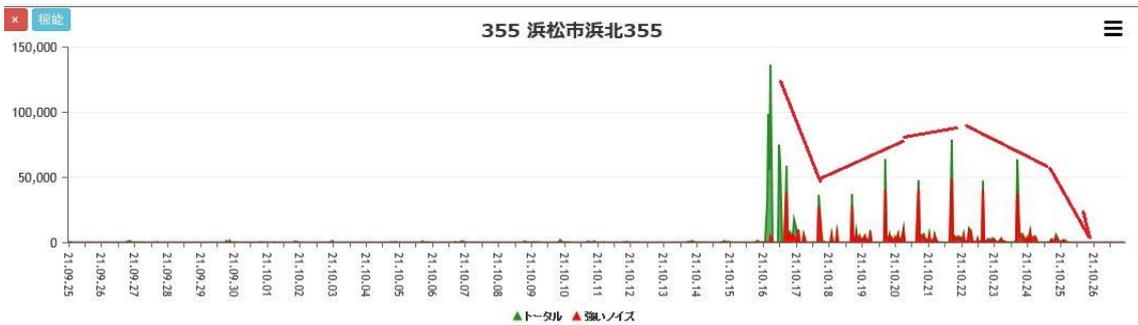
浜北 017 30日間データ



浜北 017 30日間データ (拡大)



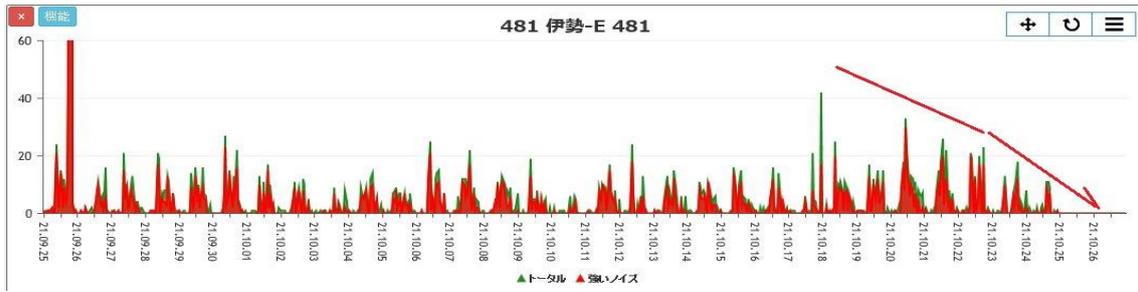
浜北 355 30日間データ



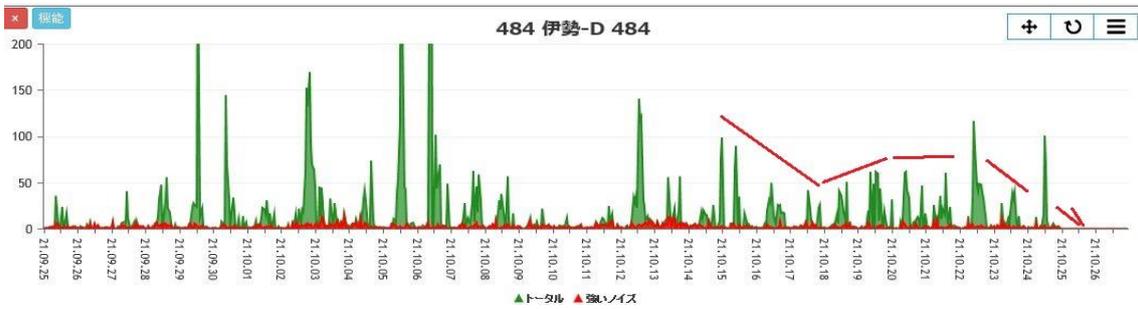
浜北 355 30日間データ (拡大)



伊勢E481 30日間データ



伊勢D484 30日間データ



三重志摩 30日間データ



三重志摩 30日間データ (拡大)



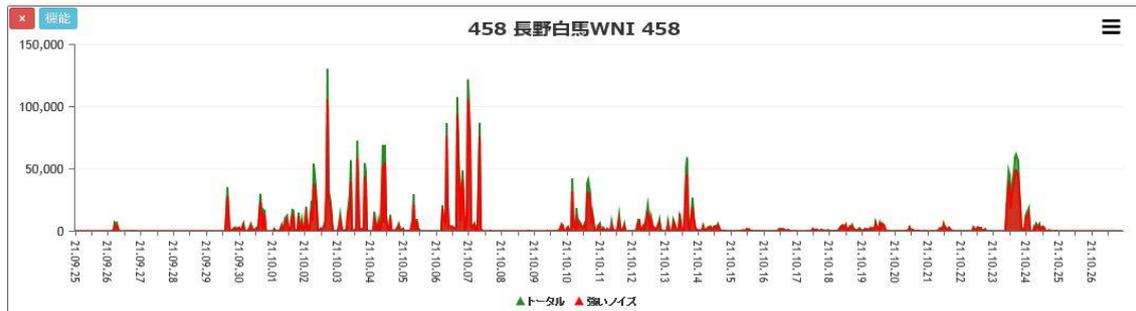
和歌山 大地 30日間データ



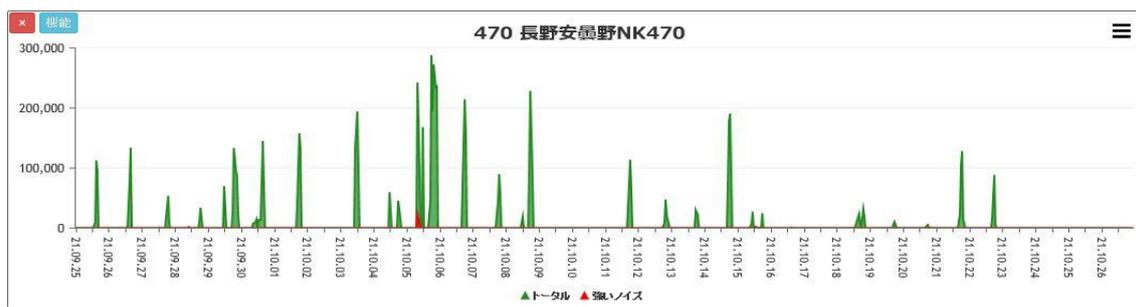
大阪 高槻 30日間データ



長野 白馬 30日間データ



長野 安曇野 30日間データ



位置関係

